

《 展示のご案内 》

★メイン展示

「新しい○○」

展示期間 3月24日(木)まで

寒さから急に暖くなりました今日この頃ですが皆さまいかがお過ごしでしょうか。そろそろ桜もきれいに咲きそうですね。春のお花見シーズン、お気に入りの本をもって、外におでかけしてみたいかですか。

今回の展示は、

- ・新しい趣味、見つけた
- ・新しい出会いのために
- ・自分にエールを

という3つのコーナーを設けました。



●メイン展示図書より(抜粋)

「逆境を乗り越える50のヒント」「魔法の習慣」
 「すみっぐらしのお友だちとなかよくする方法」
 「ハッピーシニアの参考書」「友だち関係」
 「おとなの着物ことはじめ」「アレンジをたのしむ
 苔玉と苔の本」「はじめての植物画」「知識ゼロから
 のギターで作曲」「13歳から分かる! 7つの習慣」

★サブ展示

「春の防災」

展示期間 3月24日(木)まで

3月11日。忘れることのできない東日本大震災の起こった日です。

図書館では、ここ数年、この時期には、防災に関する展示を行っています。

今年1月には、真夜中に宿毛市で震度5弱の地震が発生しました。あの時、皆さんはどう行動しましたか。



本を参考に、1年に1度この機会に防災について学びなおし、来たる南海トラフ地震に備えましょう。



●サブ展示図書より(抜粋)

「こどものための防災教室」「津波は怖い!」
 「親子のための地震イツモノート」「TSUNAMI」
 「感染しないひなん所生活」「3.11を心に刻んで」
 「おうち備蓄と防災のアイデア帖」

雑誌・図書を差し上げます

保存年限を過ぎた雑誌や除籍した図書等を差し上げます。

3月27日までは冊数制限を設けておりますので、その範囲内でお持ち帰りください。

期間 3月15日(火)～

(休館日は除く)

図書館開館中

冊数 雑誌…1人 3冊まで

図書…1人30冊まで

※英字新聞は1束を

図書1冊として計算します

児童書も
ありますよ



読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

階段ランナー

吉野万理子 著
徳間書店

高校2年生の広夢と瑠衣はそれぞれに悩みを抱えていた。そんな2人に前向きになるきっかけを作ってくれたのは階段との出会だった…。

立ち止まっていた彼らが一步踏み出す時、違う景色が見えてくる！

キュンとしたり、涙したり、素敵な青春物語です。

(児童)

かがやき子ども病院 トレジャーハンター

まはら三桃 著
講談社

国立かがやき子ども病院では、長期入院を余儀なくされる子どもたちの学びの場として院内学級がある。院内学級に通う子どもたちの楽しみのひとつは、お話作りの上手な良志の考えた物語を聞くこと。ある日、物語がいよいよ佳境を迎える中、良志が疲れて眠ってしまい結末がわからずじまいに。さらに続きが書かれたノートも消えてしまい…。ノートを探すため、大人たちには秘密の大冒険が始まる！

(一般)

子どもとつながる「お話」の魔法

シルカ・ローズ・ウエスト 著
ジョセフ・サロシー 著
NHK出版

子育てをする中で、「読み聞かせ」をした事はあると思いますが、「語り聞かせ」をした事のある人は少ないと思います。

この本は、語り聞かせのエキスパートになるための方法が、シンプルに書かれています。

子育てをする上で、親子の信頼関係を築く為に、語り聞かせを取り入れてみるのはいかがでしょうか。

(児童)

〈おはなしSDGs〉 おいしいごはんとあまいコーヒー

片川優子 著
講談社

小5のハルは『身近な大人の職業について調べましよう』という宿題のために、お父さんが働く大学の研究室へ行くことに。そこで出会ったベトナムからの留学生グエンさんからベトナムの稲作と災害・インフラ（生活や産業の基盤となる設備）の状況を聞き…。

SDGsの目標9『産業と技術革新の基盤をつくろう』への理解が深まる物語。自分が世界の人々のために何ができるかを考えるきっかけになるかもしれません。

※本の紹介文は、スタッフが作成しています。

「大塚国際美術館」 山下量子

世の中は、悲しいニュースばかりが流れているので、今日は、世界情勢やコロナ感染症とは全く関係の無い話をしたいと思う。

東京にいた頃の私は、日展や各種の展覧会に行くのが大好きだった。そんな私には、忘れられない展示がいくつかある。その中の1つが、2005年に六本木の森アーツセンターで公開された「レオナルド・ダ・ヴィンチ展」だ。

そこには、ダ・ヴィンチ直筆の手稿が展示されていた。その名は、「レスター手稿」。もともとダ・ヴィンチは膨大な量のメモや手稿を残していると言われていたが、レスター手稿は、マイクロソフト元会長のビル・ゲイツ氏が1994年に3億800万ドルで入手したものだと言われている。そんな貴重な資料が東京で見られるなんて、と興奮して足を運んだのを今でも覚えている。

細かい線の素描やダ・ヴィンチ特有の鏡文字。その文字を読みやすいように、鏡がおかれていた。その鏡を通して、500年前にペンを走らせていたダ・ヴィンチの姿を思い描いた。

ダ・ヴィンチと言えば、傑作の1つである「モナ・リザ」を知らない人はいないだろう。パリのルーヴル美術館に常設展示されているそれは、守衛の人が見続けて、気が狂った、などという噂話も聞くほど、ミステリアスでこの世のものとは思えない微笑みが描かれている。

この「モナ・リザ」に、四国で会える場所がある。知る人ぞ知る、鳴門の大塚国際美術館だ。もちろんレプリカであるけれど。

・・・はじめて大塚国際美術館に行った時の感動は忘れない。日本最大級のこの美術館のエントランスから伸びる長いエスカレーターを上っていくと、大きな展示スペースがある。目いっぱい再現されたシステーナ礼拝堂のスペースだ。首をありったけ上にむけて見る天井画は、圧巻だった。

実際のシステーナ礼拝堂は、バチカンに存在する。その天井はミケランジェロが描いたといわれる幅14メートル、長さは40メートル以上に渡る大作が彩っている。その先に広がる「最後の審判」は私の好きな作品の1つだ。

天井画を描く際に、ミケランジェロは足場を組んで、天井に直接描き込んだと言われている。画家によっては、絵の具が目にしたたり落ちるので、目を悪くする画家がいると聞いたことがある。

そんな500年以上前の苦勞の作品の再現を大塚国際美術館では悠々と見られるのだ。

ここに展示されているのは、世界のあらゆる時代の名画であるが、そのレプリカは、ただの

レプリカでは無い。陶板に原寸大で再現されているのだ。しかもその色彩は、紙やキャンバスなどに比べ、色の劣化が無く、なんと2000年たっても色あせないと言われている。

陶板といえば、つまり陶器の板。陶器の板で、どうやってシステーナ礼拝堂のようなカーブを描けるのか？疑問でしょうがない。

しかし調べて見ると、やはりそこには随分と苦勞があったようだ。

1998年のこの美術館開館時には、それは技術的に無理ということだったが、2007年に開館10周年の記念事業として、取り組みにトライしたのだという。そして、ガラスが高温で溶けて曲がる原理を利用し、ようやく実現したとのこと。最先端の技術と情熱がもたらした礼拝堂の再現であった。

この美術館には、たくさんのキリスト教美術作品が展示されており、その功績をたたえられて、二代目の館長は、ローマ法王庁より勲章を授与されているという。

ちなみにこの美術館で自分的に目玉だなと思うのは、「モナ・リザ」ももちろんだが、ピカソの「ゲルニカ」だ。その原寸大の迫力も素晴らしい。

そして、ほっこりとさせてくれるのは、モネの「大睡蓮」のスペース。モネの淡い色使いが、心を癒やしてくれる。

その他、1000点を超える展示作品を見ていると、一日中いられると思う私であった。これも、2万点に近い色を開発し、1メートルを超える大きな陶板の制作の技術があるからこそ、である。

四国の誇れる美術館。大塚国際美術館。

コロナが収束し、自由に行き来できるようになればいいなあ。



大塚国際美術館のシステーナ礼拝堂の再現ホール

～新着図書のご紹介～

一般図書



- 2 「図説世界の水中遺跡」 木村淳
 3 「妻六法」 森公任
 3 「発達が気になる子の子育てお悩み相談Q&A」 発達協会
 3 「知っておきたい和食の文化」 佐藤洋一郎
 4 「歴史を進めた植物の姿」 河野智謙
 4 「はたらく女性のためのボディワーク」 原田奈名子
 4 『70歳からは超シンプル調理で「栄養がとれる」食』 塩野崎淳子
 5 「はじめての溶接作業」 安田克彦
 5 「インスタントラーメン図鑑」 日本即席食品工業協会
 5 「おべんとうの教科書」 ほりえさちこ
 6 「小さい林業で稼ぐコツ 2」 農山漁村文化協会
 7 「よくわかる香道」 三條西堯水
 9 「図説花開くアメリカ児童文学」 ちばかおり
 9 「異常」 エルヴェ・ル・テリエ
 9 「ななみの海」 朝比奈あすか
 9 「母の待つ里」 浅田次郎
 9 「ブラック・ムーン」 逢阪剛
 9 「タラント」 角田光代
 9 「0」 堂場瞬一
 9 「はじめての」 島本理生ほか
 9 「奇跡」 林真理子
 9 「階段ランナー」 吉野万理子

※左側の数字は図書の分類を表しています。
 0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
 5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- 「牧野富太郎」 横山充男
 「私らしくCジャンプ！」 赤羽じゅんこ
 「ひとりでがんばらない！」 藤田孝典
 「おいしいごはんとあまいコーヒー」 片川優子
 「見てわかる！エネルギー革命」 エネルギー総合工学研究所
 「走れトラック、ねがいのをせて！」 森埜こみち
 「ねこの町の小学校」 小手鞠るい
 「コロキパラン」 たかどのほうこ
 「かがやき子ども病院トレジャーハンター」 まはら三桃
 「荒野にヒバリをさがして」アンソニー・マゴーワン
 「彼の名はウォルター」 エミリー・ロッダ

絵本



- 「なかよしの犬はどこ？」 エミリー・サットン
 「大ピンチずかん」 鈴木のりたけ
 「出動せよ！世界の緊急車両図鑑」 サイモン・タイラー
 「カイマンのクロ」 マリア・エウヘニア・マンリケ
 「ここがわたしのねるところ」 レベッカ・ボンド

★このほかにもたくさんの図書が入っております。
 図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、そちらもぜひご覧ください。

3月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

4月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日 10:00～18:00

ホームページ <https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-25/p010805.html>

メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp

は休館日